

Vol.57

手紙

経済安全保障担当大臣
内閣府特命担当大臣(科学技術・宇宙)
衆議院議員

小林鷹之の国政報告

討議資料

自民党千葉二区支部小林鷹之事務所発行
(千葉市花見川区・習志野市・八千代市)

こばやし たかゆき

小林鷹之からの



予算委員会で答弁

HP

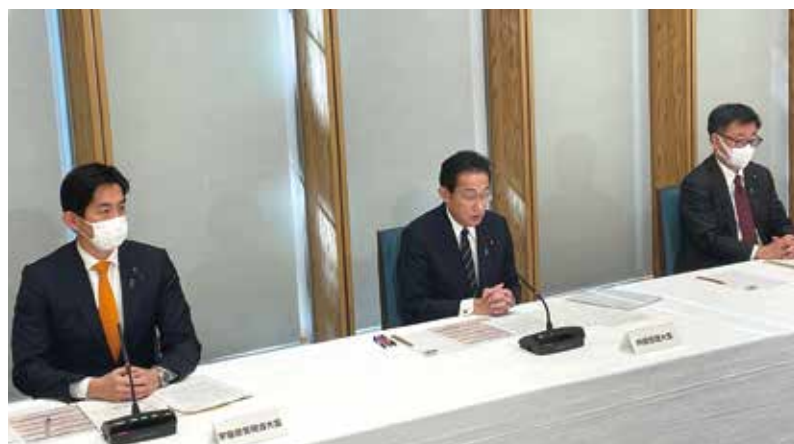


kobayashi-takayuki.jp

「第二〇八回国会(通常国会)」

平成24年の衆議院議員初当選以来10年目を迎えました。昨年10月には、経済安全保障担当大臣、内閣府特命担当大臣(科学技術・宇宙)を拝命し、その直後に第49回衆議院議員総選挙。昨年は私にとって激動の年でした。

「世界をリードする国へ、そして世界から必要とされる国に」
国を守り、国富を生み出すための活路を拓くことが政治の使命であるとの信念で、躍動疾駆する虎の如く政治活動に邁進してまいりますので、今年もご指導の程何卒よろしくお願い致します。



宇宙政策担当大臣として「宇宙開発戦略本部」に出席



グリーン駐日米国臨時代理大使と経済安全保障について面談

地元の活動も
全力で
取り組みます



宮本習志野市長と
コロナ対策について意見交換



千葉市消防出初式



防災道の駅やちよについて
国交省と打合せ



自民党千葉県連
学生部研究会で講演

大臣記者会見の様子も
随時更新中



大臣記者会見はこちらからご覧ください。
「政府インターネットテレビ 小林大臣動画一覧」
<https://bit.ly/3DDGBwh>

駅頭・街頭活動はできる限り続けています。



後援会に入会しませんか

会費無料

- 各種行事のご案内
- ファックスマガジン、メールマガジンを配信
- お申込み、お問い合わせは、電話(地元事務所)、メールまたはホームページからお願いします。
- (既に後援会会員の方でメールアドレスを未登録の方は、地元事務所までご連絡下さい)

地元事務所 〒276-0033 千葉県八千代市八千代台南1-3-3 山萬八千代台ビル1階
TEL047-409-5842 FAX047-409-5843

国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館417号室
TEL03-3508-7617 FAX03-3508-3997

Mail info@kobayashi-takayuki.jp

Twitter twitter.com/kobahawk

facebook www.facebook.com/hawk.kobayashi

HP kobayashi-takayuki.jp

小林鷹之(こばやし たかゆき)

Profile

現役職 経済安全保障担当大臣、内閣府特命担当大臣(科学技術・宇宙)

前役職 衆議院

憲法審査会 幹事
経済産業委員会 委員
法務委員会 委員

内閣第一部会長代理
デジタル社会推進本部事務総長代理
サイバーセキュリティ小委員長
新国際秩序創造戦略本部 事務局長
新型コロナウイルス関連肺炎対策本部 事務局長
感染症対策ガバナンス小委員会 事務局長
知的財産戦略調査会 事務局長
データヘルス推進特命委員会 事務局長
経協インフラ総合戦略調査特別委員会 事務局長
情報通信戦略調査会
サプライチェーンリスクに関するWT 事務局長
宇宙海洋開発特別委員会 宇宙総合戦略小委員会
宇宙法制・条約に関するWT 座長 等

元役職 内閣 防衛大臣政務官



学生の皆さん
との交流



地元の千葉英和高校メ
カトロ倶楽部の皆さん
が大臣室に。
宇宙エレベーターロ
ボット競技会で2連覇。



自民党青年局主催の座談会。大学生の皆さんと。



約2年ぶりに地元の小学生が国会見学にきてくれました。

各方面からの要望



同僚議員などからも要望が続きます
(写真：自民党海洋戦略小委員会)



自治体からの要望

先端技術開発拠点の視察



わが国の先端技術開発拠点「産業技術総合研究所」(上)と
「物質・材料研究機構」(下)の視察



講演会やインタビューも多数受けています



民間主催のシンポジウムで講演



日本記者クラブで講演

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症発生から2年が経過しました。子供からご年配の方に至るまで、それぞれのお立場で国や自治体からお願いにご協力を頂いていることに感謝申し上げます。

感染状況は日々変化しますので、この手紙が皆様のお手元に届く時の状況を予測することは難しいですが、現時点(1月27日)で感染拡大傾向にあるオミクロン株については、感染力が強い一方で重症化リスクは低いとも言われています。まん延防止等重点措置の適用により、行動の制約をお願いしたところですが、可能な限りデータに基づいた対策とそれに伴う説明責任を果たしていくことが大切です。また、現政権のコロナ対応については「柔軟」と評価されることもあれば「朝令暮改」と批判されることもあります。しかし、重要なのは、未曾有の事態に置かれる中で、より良い選択肢があれば、躊躇なく変更を決断すること。それこそ政治の責任だと考えます。

私は、国産のワクチンや治療薬の研究開発体制の強化を含む健康医療戦略についても担当しています。現在、治療薬についてはいくつか承認もされていますが、日本産ワクチンや経口治療薬については未だ開発途上です。今後、新たな感染症が発生した場合に、外国頼みではなく日本自身の意志と能力で国民の命を守り抜く体制を構築する必要があります。

2. 基幹インフラの機能維持のための安全性・信頼性の確保

わが国も含め、世界各国で、基幹インフラ事業者や民間企業に対するサイバー攻撃が発生しており、社会的混乱が発生している事例もあります。このような、電力、通信、金融、物流など、国民の生活に欠かせないインフラ(基幹インフラ)設備のサイバーセキュリティなどを強化し、安全かつ安定的な稼働を担保することが重要。

3. 先端的な重要技術の研究開発での官民協力

産業基盤のデジタル化、高度化に伴い、科学技術・イノベーションが国家間の覇権争いの中核となつていきます。主要国は、AI(人工知能)、量子、生命科学、素材など、重要な先端技術の開発・育成を国家戦略と位置付けて取り組んでいます。わが国としても、こうした分野により多くの公的資金や人材を投入し、官民一体となった研究体制を強化し、イノベーションを喚起し、経済成長につなげていくことが重要。

4. 特許出願の非公開制度

わが国では、特許出願された発明は一定期間後に全て公開されますが、主要国においては、安全保障上特に機微な発明の特許出願については、技術流出を防止する観点から一部非公開とする制度が存在します。G20の中で同様の制度がないのは日本、メキシコ、アルゼンチンのみ。こうした制度を我が国としても整備することが重要。

そこでまず、2,500億円程度の基金を積んでいき、平時から緊急時を想定したワクチンの研究開発を新たな組織を設置するなどして進めて行きます。さらに、開発されたワクチンの生産に必要な特殊な製造設備整備のための補助金を出せる仕組みを令和三年度補正予算で措置しました。一朝一夕にはいきませんが、着実に体制を強化します。

経済安全保障

「経済安全保障」の目指すものは、前号の手紙で紹介しました。1月17日に召集された通常国会には、いよいよ経済安全保障に関する法案を提出します。現在、産業界や学界などの有識者の皆様からも知見を頂きつつ、職員と共に、連日、精力的に議論し検討しています。

法制化のための有識者会議で提案された内容は次の4点です。

1. サプライチェーン強靱化(安定供給確保)

コロナ禍で、特定の国に依存していたマスクや医療用ガウンが供給困難になりました。医薬品、鉱物、半導体など、わが国の経済・社会活動が大きく依存する重要物資について、供給元の多角化や国内生産を進め、特定国に過度に依存しないようにすることが重要。

経済安全保障上、わが国としてとるべき政策は広範で多岐に亘ります。今国会に提出する予定の法案は、その一部であり、まずは急ぎやらないといけないことから進めています。

「経済安全保障は民間の自由な経済活動を規制するものだ」との報道も一部に見受けられますが、これはミスリーディングです。私も経済活動は原則自由であると考えています。但し、それを担保していくためにも、グローバル化やデジタル化が進む中で生じている副作用を適切に抑えていくことが同時に重要です。

「経済安全保障担当大臣」を置き、経済安全保障の切り口で法整備をするのは、世界中であまり例を見ないこともあり、各国からも注目されています。

これまで自ら作成した議員立法の審議は何度か経験していますが、大臣として臨む法案審議はもちろん初めてです。非常に重い責務であり、日本、日本の将来のために情熱を傾けて作業に携わっている多くの職員たちと共に前進するのみです。

令和四年二月吉日

衆議院議員 小林鷹之